

## (2) 町のうつりかわり

### ① 村から町へ

次の図は、塩川町が一つの町になるまでのうつり<sup>か</sup>わりを表にしたものです。

今から140年前ごろ（明治のはじめ）には、村が42もありました。

明治8年から明治10年にかけての<sup>※だいいちじがっぺい</sup>第一次合併では、17の村になりました。

明治22年の<sup>だいにじがっぺい</sup>第二次合併では、今の4つの地区である、塩川村、堂島村、姥堂村、駒形村になりました。その後、姥堂村は、塩川村と組合を作り、<sup>きょうりよく</sup>協力し合うことになりました。

明治42年（約91年前）には<sup>ちようせいじっし</sup>町制が実施され、塩川町・堂島村・姥堂村・駒形村の一町三カ村となりました。

大正13年には、姥堂村が、塩川町から分かれました。

昭和29年（約46年前）7月1日の<sup>がっぺい</sup>町村合併で、今の塩川町となりました。

わたしたちの住んでいる地区は、どのように<sup>か</sup>変わってきたのか調べてみましょう。

---

※第一次<sup>がっぺい</sup>合併…このころは村と村が合わさってひとつの村になった

---